

Smart Smile Letter

vol. 1

2021.01.05

Contents

新年ご挨拶

85期 方針・抱負

84期 トピックス

New Year's Greetings



北菱電興株式会社
代表取締役社長

こくら いちろう
小倉 一郎

旧年中は格別のご高配を賜り、心より御礼を申し上げます。
北菱電興株式会社は昭和22年1月の創業以来、多くの顧客、取引先、協力会社の皆様の力強いご支援とご協力を頂きながら進んでまいりました。また社員一人ひとりの努力とそれを支えるご家族のご協力を事業の推進力とし、諸先輩方が築かれた確かな企業基盤にも助けられ、激しく移り変わる時代の荒波を乗り越えることができました。三菱電機株式会社等の代理店としてスタートし、やがて電気空調設備工事や自社製品の開発製造にも業態を広げてきた弊社は、21世紀を迎えた現在も電力関連事業をはじめ、ロボットや農業部門等々の新規事業にも取り組み、限りない未来への挑戦を続けています。

弊社は昨年12月より新しい期(85期)がスタートしました。前期は新型コロナウイルスの影響で厳しい1年となりましたが、テレワークやオンライン会議、電子決済等を導入し、働き方改革を加速させることができました。またNTTドコモの5G回線を利用したスマート工場「Smart Smile Factory」を開設し、“人”中心のDXというテーマのもと、生産性向上だけでなく働く人の幸福度アップを目的とした新たなスマート化を実践していきます。また、社員一人ひとりが創業以来の社是である「創意工夫」の実践を通じて、皆様のお役に立てるような商品や技術、サービスを構築できるよう努力し続けていきます。

今後も事業を通じて産業界の発展と地域の振興に貢献できるように、社員一同全力で取り組む所存です。皆様方のご期待に沿えるようさらに努力してまいりますので、これからもご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

85th Resolution



機器事業部 事業部長
むらもと かずお
村本 一生

専門分野を極めることで「人とモノ」を繋げ、

地域企業と共に発展する

機器事業部のFA事業環境は、コロナ禍での海外需要の低迷や貿易摩擦などの海外情勢不安により厳しい環境下にあります。5G普及や生産設備の見える化などIoT需要はより一層投資が見込まれます。そのような状況の中で時代の変化とそれに伴うビジネス環境の変化を考慮し、持続的発展と人財育成を目指します。北菱グループの総合力を活かした提案営業、IoT、AI、画像処理など先進技術を習得してのソリューション提案、三菱電機ならびに協力メーカーとの連携強化による新たな価値の提案を強化します。またコンプライアンス遵守を徹底し、社員がやりがいを感じ、高いモチベーションで業務を遂行できる組織作りに取り組みます。



良い提案が良い関係を生み、

お客様と社員の幸せに繋がる

冷熱システム部

コロナ禍の中、低調な設備投資の気運もございますが、一方でコロナ対策として空調換気が大きく取り上げられています。当社の提案営業力を存分に発揮し、積極的かつ能動的に行動して参ります。月並みではございますが、逆境こそ最大のチャンスと捉え、今期は耐えつつも飛躍の年となるよう邁進してまいります。

ICTソリューション部

時代の変化（進化）が早く先行きが見えない近年、常に情報を先取りすることで、スピーディー且つ的確に行動し、顧客のニーズを掴み対応する事が最善策と考えています。トライの精神で、新商圏での当社の地位確立や新商材の獲得など、新たな基盤を築き部の存在価値を大いに高める年となるよう努めて参ります。



機電事業部 事業部長
むらまつ あきのり
村松 明訓



技術開発事業部 事業部長
すずき わたる
鈴木 渉

時代のニーズにマッチした

新しい価値の創造に取り組む

電機部

太陽光発電システムや小水力発電システムなどを利用したエネルギーマネジメントなど、地球環境に対して負荷の少ない「再生可能エネルギーの活用」について積極的に取り組みます。また、インフラ向けクラウドソリューションの提供などにも力を注ぎ、今後を見据えた新しい分野での事業展開にチャレンジして参ります。

開発部

当社のいなほ工場において「Smart Smile Factory with 5G」を展開し、“人”中心のDX（Digital Transformation）を実現します。5Gを始めとするデジタル技術「Smart」を駆使し新たなイノベーションを生み出すとともに、豊かで幸せな社会の実現に取り組み、関わる人すべての「Smile」を目指します。

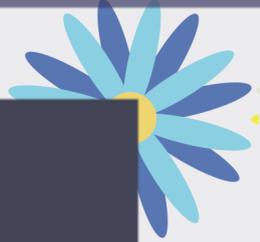
営業・技術・工事の連携で強いチーム作り

空調部／電設部

我々施設事業部85期は建設業活動指数の低下傾向をみても、新型コロナウイルスの影響により工事計画の中止や延期が相次ぎ、極めて厳しい状況に置かれることが予想されます。そんなコロナ禍で、どのように最悪の状況を打開して行けばよいのか。『安定的な受注基盤を作り施設事業部を磐石にする』この施設ビジョンに基づき言い訳愚痴を出さず知恵を出し、営業・技術・工事が一丸となり強いプロ集団を構築し、重要顧客の深堀死守、新規顧客の拡大を図りながら並走する働き方改革にも取組み、黒字を目指します。



施設事業部 事業部長
なかえ のりみつ
中江 憲光



管理本部 本部長
つちがみ けんいち
土上 健一

変化するワークスタイルに対応し、

環境整備・業務効率化を実践する

コロナウイルス感染拡大が続く中、ライフスタイル、ワークスタイルが急速に変化しています。特に、近年のITの発達により働く場所も時間もワークスタイルに応じて選べるようになってきました。テレワーク、在宅勤務、短時間労働など各企業が働き方改革に力を入れている中、正にコロナウイルス感染拡大がワークスタイルの変革を後押ししています。その変革を実行することで、社員満足度の向上、生産性の向上、優秀な人材の確保・定着率UP、そして社員のスキルアップ、イノベーションの創出といった様々なメリットが期待できます。管理本部としては多岐にわたるワークスタイルを選べるようにする為にも、環境を整えなければなりません。まずはワークフローや掲示板、スケジュール管理などグループウェアを利用したシステムを活用し、情報をより早く正しく共有する為にも、業務効率化の拡大に取り組んで参ります。

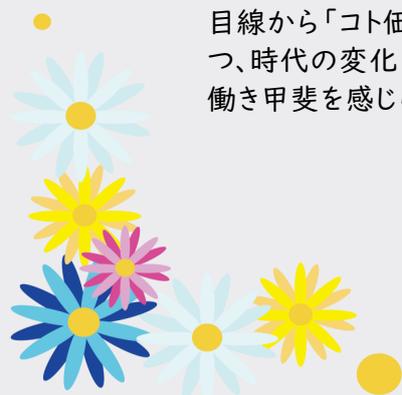
いきいきと働ける職場環境づくり

当社の工事部門(設備、電気)が優位性を保ってきた最大の強みは、設計、施工からメンテナンスまでを行うことができる総合力と、販売部門では三菱電機ブランドの商材代理店の立場であることです。

今後は、「モノ売り」から「コト売り」と販売手法が大きく変化する中において、顧客目線から「コト価値」を訴求することが必須と考えます。当社最大の強みを活かしつつ、時代の変化に柔軟に対応していくため、まずは風通しが良く社員がやりがいや働き甲斐を感じられる職場づくりに社員一丸となって取り組んで参ります。



富山支店 支店長
かわうら ひでかず
河浦 秀和



84th Topics

December

弊社HPにて企業理念を公開。

社内でSDGs研修を開始。

『農林水産業 基幹技術開発 トライアル事業』採択。

January

複数のメディアでいちごファームHakusan
が取り上げられる。

February

『IoT in Action Tokyo』に出展。

尾山神社にて安全祈願祭を実施。

March

新型コロナウイルス感染拡大防止のためいちご
ファームHakusanの摘み取り体験を中止。

いちごのパック販売に加え、コラボ商品(ジャムソー
ス/能登ミルクジェラート/能登ミルククッキー)を販売。

感染症予防対策としてテレワーク導入開始。

April

医療用フェイスシールドを寄贈。

新入社員8名が入社。

「国立工芸館(電気・空調設備)」竣工式。

「金沢港クルーズターミナル(空調設備)」竣工式。(※中止)

May

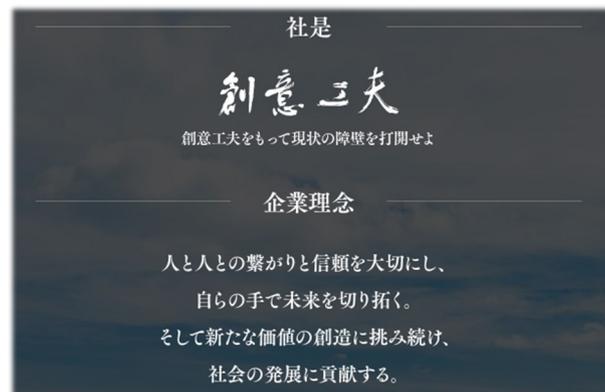
コロナの影響で社内行事や展示会開催などが中止
となる。

June

就活ガイドブック『Beconnect』等に掲載される。

令和2年度の北菱電興グループ安全大会のスローガンが

『5G 笑顔と安全つながる未来 みんなでつくろう快適職場』に決定。



昨シーズンもいちごファームHakusanが多くのメディアから取材を受けました。また、ジャム専門店の「こかわや」とのコラボジャムソースの販売や、地元小学校の苗植え体験学習の受け入れなども行いました。



よりよい社会の実現を目指し、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを行っています。社員向けの研修も開始し、修了者には、弊社オリジナルの能登ヒバ製のバッジを進呈しています。



県内医療機関においてフェイスシールドが不足している状況を受け、計80セットを県内の8つの病院へ寄贈いたしました。

July

ほくりくアイドル部とのコラボCMの放送を開始。

「七尾警察署(電気設備)」、
「中央小・玉川こども図書館(中央小給排水設備)」起工式。
いちごファームHakusanにて苗植え体験学習を実施。



北陸を中心に活躍している地元アイドルのほくりくアイドル部の皆さんとコラボしました。新CMをはじめ、リクルート用パンフレットにご出演いただきました。

August

内定者懇親会をオンラインで実施。
カネマツ鋼材様への生産管理システム導入支援に関するニュースリリース。

September

夏期/秋期オンラインインターンシップを実施。



施工実績が石川県から表彰されました。
『金沢港クルーズターミナル 建設工事(空調設備)』
石川県土木部営繕課表彰
『国立工芸美術館 移転設備工事(電気設備)』
石川県土木部長表彰

October

リクルート向けパンフレットを制作。
「泉野福祉健康センター(電気・給排水設備)」起工式。
秋の清掃活動を実施。
水田用自動給水機Aquaportを『農業Week2020』に出展。

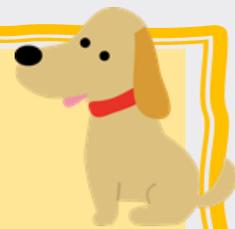
November

Smart Smile Factory 開設記者発表を実施。
ホクリョーリードが新サービス「HokuryoConnect」に関するオンライン記者発表を実施。
施設事業部の施工実績が表彰される。
『Matching HUB Kanazawa2020』に出展。
『石川担い手応援フェア2020』に出展。

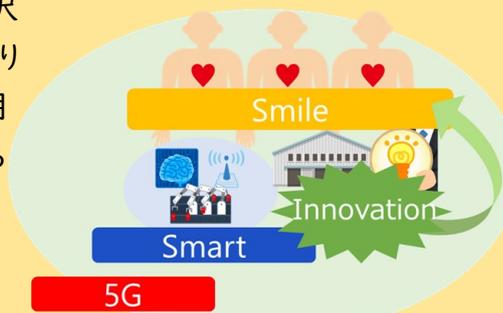


「小型で軽量」「簡単設置」の水田用自動給水機Aquaport(アクアポート)。水管理で苦勞されている農家さんに本当に役立つ製品を目指して「現場目線」で開発しました。





北菱電興は、株式会社NTTドコモ様(以下、ドコモ)、学校法人金沢工業大学様(以下、金沢工業大学)と産学連携で整備を進めて参りました、5Gスマート工場Smart Smile Factory(以下SSF)を11月12日(木)に開設いたしました。SSFとは、電子機器製造を手掛ける弊社いなほ工場にドコモの5Gエリアを整備し、工場内で従業員が5Gを活用して業務にあたるものです。生産機械を効率化する「Smart」だけでなく、従業員のモチベーション向上につながる「Smile」の視点からも各種機能を実装していきます。製造業の現場は人手不足とその作業の特性から、作業の属人化が進み、従業員の負担が大きくなる傾向にあります。そのため人との関わりやコミュニケーションが希薄になり、一生懸命頑張っているが元気がないという状態となっています。テクノロジーが如何に進歩しても、人の幸福度が向上していかなければ、仕事を通して未来を共に創っていく喜びや価値観を共有することはできません。故にSSFは、「人」中心のDX(デジタルトランスフォーメーション)」をコンセプトとし、人のやりがいや創造力を引き立てるためにデジタル技術を駆使することで、物理的にスマート化していくだけでなく従業員の心理的な面も解決し、工場に関わる全ての人をスマイルにすることを目指しています。現在は、「Smart」の観点で製造ラインの見える化、電力監視、現場環境温度・人の位置情報の見える化の3つが稼働しており、「Smile」の観点で「遠隔MR会議」と「バーチャル工場見学」の2つの機能を実用化しています。2021年度以降には「Smart」の観点で「常時映像接続による拠点間交流空間の整備」等に取り組む予定です。ドコモの5Gソリューション、弊社の長年培ってきたFA技術の先進事例が活用されるほか、金沢工業大学との新たな教育プログラムも実践しております。SSFが目指す「人」中心のDXは、弊社が取り組むSDGsの8(働きがいも経済成長も)と9(産業と技術革新の基盤をつくろう)に相当します。共感して頂ける仲間やパートナーを増やし、地域の課題解決などにも注力していきたいと考えています。今後もステークホルダー様とともに5G時代のニューノーマルの協創に取り組んで参ります。



Afterword

2019年12月より社内報の制作を開始し、この度、念願の社外報「Smart Smile Letter」を発行する運びとなりました。この社外報を通してより多くの皆様に当社の魅力を伝え、読んでくださった方々に「Smile」を届けられるよう、編集メンバー一同今後も頑張ります! ※次号では弊社取締役と部門紹介を予定しています。